

関西学院大学専門職大学院経営戦略研究科
会計専門職専攻(アカウンティングスクール)秋季連続セミナー
『職業としての公認会計士』

会計の現場では、様々な専門家が関わっていますが、その最前線にいるのが公認会計士です。相次いで不正会計が発覚する中、公認会計士がクローズアップされていますが、公認会計士は、会計の現場において、どういう役割を果たし、何が求められているのでしょうか？

個性あふれる3名の公認会計士が、その現状と将来について本音で語り、さらに、公認会計士を含め職業会計人に必要不可欠な「財務会計」「監査」「管理会計」について、各研究者が、公認会計士試験との関連も含め、独自の切り口で、語ります。

公認会計士をめざしている方、あるいはめざそうとしている方、会計の実務に携わっている方、会計の分野に興味がある方、職業としての公認会計士について一緒に考えてみませんか？

*会場：大阪梅田キャンパス(大阪市北区茶屋町 19-19 アプローチタワー14階・10階)

参加費無料、事前申込不要

第1回 9月7日(金) 19:00～20:30	「人類の幸福に貢献する公認会計士」ーその現状と将来ー 講師：西尾宇一郎、西田隆行、井上浩一 関西学院大学経営戦略研究科教授(公認会計士)
第2回 9月12日(水) 19:00～20:10	「公認会計士試験における財務会計論」 講師：中島 稔哲 関西学院大学経営戦略研究科准教授
第3回 9月19日(水) 19:00～20:10	「企業の監査と役所の監査」 講師：石原 俊彦 関西学院大学経営戦略研究科教授(公認会計士)
第4回 9月26日(水) 19:00～20:10	「職業専門家に必要な管理会計の知識」 講師：浜田 和樹 関西学院大学経営戦略研究科教授

*大阪梅田キャンパス事務室は、大阪市北区茶屋町のアプローチタワー14階です。(tel:06-6485-5611)

お問合せ先：関西学院大学専門職大学院経営戦略研究科 tel:0798-54-6572

e-mail: iba@kgo.kwansei.ac.jp

◆ 講 義 内 容 ◆

第1回 9月7日(金) 19時～20時30分 1004教室(10階)

「人類の幸福に貢献する公認会計士—その現状と将来—」

関西学院大学経営戦略研究科教授(公認会計士) 西尾 宇一郎、西田隆行、井上浩一

会計と監査は経済社会の重要なインフラ。その中心的役割を担う公認会計士。社会の期待がますます大きくなり、業務が拡大する一方、不祥事の発生などで、規制が強化され、責任も重くなっている。今後、公認会計士はどうなるのか。公認会計士の役割や魅力、現状、将来像について、3人の実務家教員が本音で語る。(講演のあと、会場からの質問にも答えるかたちでディスカッションを行います。)

第2回 9月12日(水) 19時～20時10分 1005教室(10階)

「公認会計士試験における財務会計論」 関西学院大学経営戦略研究科准教授 中島稔哲

企業会計基準、その適用指針、実務対応報告および実務指針は、質量とも厚みを増しています。財務会計論の出題の範囲には、これらに関する知識のみではなく、それらの背景となる会計理論や代替的な考え方も含まれています。では、財務会計論の試験問題は、どのようなものなのであろうか?そして、会計大学院の教員は、試験問題をどのように捉えているのであろうか?

第3回 9月19日(水) 19時～20時10分 1408教室(14階)

「企業の監査と役所の監査」

関西学院大学経営戦略研究科教授(公認会計士、新日本監査法人大阪事務所学術顧問) 石原俊彦

公認会計士の代表的な使命は、民間企業の財務諸表の監査です。ところが最近では、会計士に対する社会からの期待が拡大し、監査の対象が企業の内部統制、さらには、役所の監査にも拡大しています。ますます社会から期待される公認会計士の実際を、監査の視点で解説します。

第4回 9月26日(水) 19時～20時10分 1005教室(10階)

「職業専門家に必要な管理会計の知識」 関西学院大学経営戦略研究科教授 浜田和樹

会計学というとすぐに財務会計を連想しがちですが、管理会計の知識は会計専門家にとっても、各種組織体の経営者や管理者にとっても必要不可欠のものです。というのは、組織内で会計数値がいかに使われているか、いかに使われるべきかを知ることは、経営の計画と統制のためにも、また経営の実態を知る意味でも重要なことだからです。このセミナーでは、そのような管理会計について、各種の面から解説することを目的としています。

アプローズタワー 〒530-0013 大阪市北区茶屋町 19-19

